

# 米国認定損害保険士（CPCU）資格について

主席研究員 中江 俊

## 目 次

1. はじめに
2. **米国の保険に関する資格制度の全体像**
  - (1) 名刺等でよく見る表記
  - (2) 保険に関するさまざまな資格制度
3. **CPCU 資格の概要**
  - (1) CPCU 資格制度の沿革
  - (2) CPCU 資格制度の資格者数等
  - (3) CPCU 資格を取得するための要件等について
4. **米国 CPCU 研究所/米国保険研究所（AICPCU/IIA）の組織と活動概要**
  - (1) AICPCU/IIA の各部門の活動概要
  - (2) 世界保険教育事業研究所（IGIE）の資格に関する国際活動
5. **CPCU 資格者の会員組織の活動**
  - (1) CPCU 会（CPCU Society）の組織の概要
  - (2) CPCU 会（CPCU Society）の活動の内容
6. **CPCU 資格により期待される効果と制度の課題**
  - (1) CPCU 資格取得によって期待される効果
  - (2) CPCU 資格制度の課題
7. おわりに

## 1. はじめに

昨今の保険商品の高度化や消費者保護の徹底により保険会社に勤める者の高い知識レベルとともにコンプライアンスに則った行動への要求はますます高まっている。

2012年より保険募集人の知識・業務のステップアップを促し、そのステップアップに社会的通用性を持たせたしくみとして、損害保険大学課程の認証制度がスタートした。この制度の主な対象は、損害保険代理店の募集人であり保険会社の社員は対象ではない。しかしながら、このような知識・業務の向上は、保険募集人のみならず保険業界に携わる者全員に求められているのではないだろうか。

保険事業のグローバル化および国内市場の成熟化にともない、損害保険会社各社の海外展開が進み、国際的な規制の調和が図られる中、わが国の保険業界で就業する者が海外で活躍する機会はますます高まっている。そのような環境下でわが国がリーダーシップを取っていくためにも、各自のスキルの高度化が不可欠である。

欧米においては、保険業に携わる者が自己のスキルアップを図るための教育・資格制度が数多く設けられている。それらの制度は保険募集人のみならず、保険会社の社員、法律家等、広い対象者によって受験され、試験への合格により認証された資格は、広く社会に認知されている。

米国では、保険に関する教育・資格の認証制度が数多く提供されているが、本稿では、その中でも最高峰の資格とされる米国認定損害保険士資格（Chartered Property Casualty Underwriter：以下「CPCU 資格」）の内容を中心に、その実施団体および資格制度の概要について紹介する。

なお、本稿における意見・考察は、筆者の個人的見解であり、所属する組織を代表するものではないことをお断りしておく。

## 2. 米国の保険に関する資格制度の全体像

本項では、CPCU 資格の説明の前に、米国の保険にかかわる資格制度の全体像について概観する。

### (1) 名刺等によく見る表記

米国で保険を販売する代理店等は、わが国と同様に保険販売に関する資格を取得した上で販売免許を受けることが義務付けられている。それらの販売資格は、一般的には州別の保険規制の中で定められており、受験資格や資格を維持するための継続教育の受講等についても規定されている。

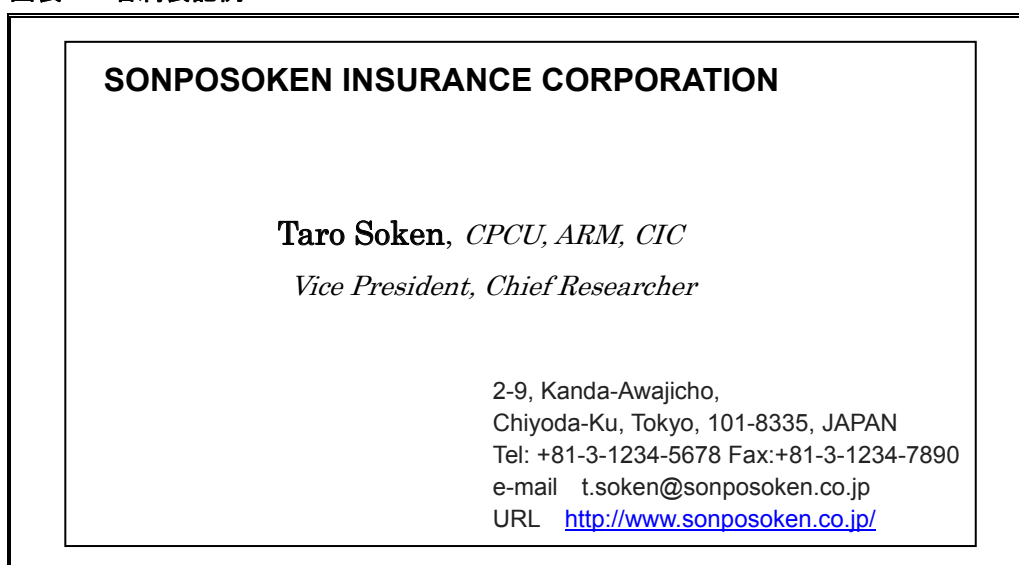
一方、米国の保険業界に勤める者の名刺（Business Card）を見ると、保険代理店等で業務を行う者に限らず、保険会社の社員の名刺にも役職や氏名の後ろに数文字のアルファベットが表記されているものを多く見ることができる。これらの表記は、一般的に本人の取得している各種の資格を表す略称であることが多い。米国ではこれら

の略称が各種の資格を表す一般的な表記として認知されている。

図表 1 は、損害保険会社の社員の名刺の例であるが、氏名の後に記されたアルファベット表記は、3 つの資格を取得していることを表しており、具体的には以下の資格の略称である。

- CPCU (Chartered Property Casualty Underwriter) : 米国認定損害保険士
- ARM (Associate in Risk Management) : リスクマネジメント士
- CIC (Certified Insurance Counselors) : 公認保険カウンセラー

図表 1 名刺表記例



(出典：各種事例をもとに作成)

## (2) 保険に関するさまざまな資格制度

上記の例の様に米国では、販売資格として取得が義務付けられた資格以外に、保険業界で働く者が自らのスキルアップのための教育プログラム、およびそれらの修得を証明する資格制度が多数存在する。例えば、保険業界誌が毎年掲載している主要資格制度一覧によると、損害保険、生命保険およびその他金融の専門家に関する主要な資格として 27 の団体が実施している 57 もの資格制度が紹介されている (図表 2 参照)<sup>1</sup>。損害保険に関しては、CPCU 資格以外でも、アンダーライティング、リスクマネジメント、損害調査、商品販売スキル等の分野に関する資格制度が、さまざまな保険教育団体等によって実施されている (図表 3 参照)。

数多くの資格の中でも、損害保険を中心に、法律や会計などの周辺分野にまでおよぶ広い範囲を学習対象とする CPCU 資格の取得は、損害保険の修士号の取得と同等レ

<sup>1</sup> Best's Review, "Designations For Insurance and Financial Professionals" (2012.6)

ベルの難易度として例えられ、米国で最も権威とステイタスを有する損害保険資格として認知されている。資格のステイタス性を客観的に測ることは困難であるが、例えば、連邦労働統計局（Bureau of Labor Statistics）が作成しているさまざまな職業を紹介している職業概要ハンドブック（Occupational Outlook Handbook）<sup>2</sup>においても、保険会社のアンダーライターおよび保険販売代理店に関する記載などでは、その双方において、資格取得による将来のキャリア構築に際しての優位性が説かれており、損害保険分野においては CPCU 資格が代表例として挙げられている<sup>3</sup>。

**図表 2 米国の保険に関連する主な資格制度例**

資格名称	提供機関
・ 米国認定損害保険士 Chartered Property Casualty Underwriter (CPCU)	米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 ( American Institute for CPCU/Insurance Institute of America : AICPCU/IIA)
・ リスク・保険マネジメント会会員 Fellow, Risk and Insurance Management Society (FRIMS)	リスク・保険マネジメント会 (Risk and Insurance Management Society : RIMS)
・ 公認専門職業人賠償責任アンダーライター Registered Professional Liability Underwriter (RPLU)	専門職業人賠償責任アンダーライテ ィング会 ( Professional Liability Underwriting Society)
・ 保険トレーニングプロフェッショナル Insurance Training Professional (ITP)	保険トレーナーおよび教育者会 ( Society of Insurance Trainers and Educators)
・ 船体保険損害査定プロフェッショナル Marine Hull Claims Professional (MHCP)	米国標準アジャスター協会 ( Association of Average Adjusters of the U.S)
・ 公認保険カウンセラー Certified Insurance Counselor (CIC)	全米保険教育・研究連合 (National Alliance for Insurance Education & Research)
・ 企業保険補償スペシャリスト Commercial Lines Coverage Specialist (CLCS)	全米アンダーライター会社 (The National Underwriter Company)
・ 公認保険ホールセラー Certified Insurance Wholesaler (CIW)	米国総代理店マネジメント協会 ( American Association of Managing General Agencies)
・ ACORD 公認エキスパート ACORD Certified Expert (ACE)	ACORD
・ 身体障害医療プロフェッショナル Disability Health Care Professional (DHP)	米国医療保険プラン (America's Health Insurance Plans)
・ 認定ファイナンシャルコンサルタント Chartered Financial Consultant (ChFC) ・ 認定生命保険士 Chartered Life Underwriter (CLU) ・ 登録生命保険士 Registered Health Underwriter (RLU)	アメリカン大学 (The American College)

<sup>2</sup>連邦労働統計局（Bureau of Labor Statistics）が作成している職業展望ハンドブック（Occupational Outlook Handbook）では、さまざま職種について、給与水準、就業の為に必要な学歴水準、雇用統計、業界見通し等の統計の他、一般的な就業環境や就職に必要な要素などが紹介されている。

<sup>3</sup> 生命保険分野では、アメリカンカレッジ（The American College）の実施している CLU（認定生命保険士）等の資格が効果的なものとして例示されている。

資格名称	提供機関
・認定不正検査士 Certified Fraud Examiner (CFE)	不正検査士協会 (Association of Certified Fraud Examiners)
・認定ファイナンシャルプランナー Certified Financial Planner (CFP)	CFP 資格認定委員会 (Certified Financial Planner Board of Standards)
・認定ファイナンシャルアナリスト Chartered Financial Analyst (CFA)	CFA 協会 (CFA Institute)
・認定代替投資アナリスト Chartered Alternative Investment Analyst (CAIA)	認定代替投資アナリスト協会 (Chartered Alternative Investment Analyst Association)
・生命・医療保険クレーム会員 Fellow, Life and Health Claims (FLHC)	国際クレーム協会 (International Claim Association)
・リーダーシップ研究所会員 Leadership Institute Fellow (LLIF)	LIMRA (Life Insurance and Market Research and Association)
・ファイナンシャルサービス研究所会員 Fellow, Financial Services Institute (FFSI)	LOMA (Life Office Management Association)

(出典 : Best' s Review, “Designations for Insurance and Financial Professionals” (2012.6) 等各種資料をもとに作成)

図表 3 米国の損害保険に関する資格制度例

<b>団体</b>	米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 (American Institute for CPCU/Insurance Institute of America : AICPCU/IIA)
<b>資格</b>	米国認定損害保険士 (Chartered Property Casualty Underwriter : CPCU)
<b>概要</b>	米国の損害保険に関する資格の最高峰。学習範囲は、損害保険のみならず法律・会計等の周辺知識まで広範囲に及び、資格取得には 8 科目の試験合格が必要となる。
<b>団体</b>	リスク・保険マネジメント会 (Risk and Insurance Management Society : RIMS)
<b>資格</b>	リスク・保険マネジメント会会員 (Fellow, Risk and Insurance Management Society : FRIMS)
<b>概要</b>	組織におけるさまざまなリスクに対応するスキルと知識の向上を図る。資格取得には、CPCU 資格の保持と RIMS が開催する 12 日間のワークショップへの参加等が必要となる。
<b>団体</b>	保険データマネジメント協会 (Insurance Data Management Association : IDMA)
<b>資格</b>	公認保険データ管理者 (Certified Insurance Data Manager : CIDM)
<b>概要</b>	保険に関するデータの収集、報告、データの品質管理技術に関するカリキュラムを提供。資格取得には IDMA が設けている 4 つのプログラムと、指定された CPCU 資格等に含まれる 4 つの教育プログラムの終了と試験への合格が必要。
<b>団体</b>	専門職業人賠償責任アンダーライティング会 (Professional Liability Underwriting Society)
<b>資格</b>	公認専門職業人賠償責任アンダーライター (Registered Professional Liability Underwriter : RPLU)
<b>概要</b>	修得範囲は専門職業人賠償責任保険に関する引受、リスクマネジメント、法律問題、クレームから販売やマーケティングまで幅広い。資格取得には、2 年間の業務経験の上で 8 科目の自習プログラムの修了と 7 科目の試験の合格が必要。
<b>団体</b>	保険トレーナーおよび教育者会 (Society of Insurance Trainers and Educators)
<b>資格</b>	保険トレーニングプロフェッショナル (Insurance Training Professional : ITP)
<b>概要</b>	保険業界のトレーニングと教育分野における、プロフェッショナルリズムを承認する資格である。資格取得には、20 時間のカリキュラムの受講か、認定された他の保険・金融分野の資格が必要であり、一定期間の業務経験も合わせて必要である。
<b>団体</b>	米国標準アジャスター協会 (Association of Average Adjusters of the U.S)
<b>資格</b>	船体保険損害査定プロフェッショナル (Marine Hull Claims Professional : MHCP)
<b>概要</b>	資格取得には、船体保険の査定実務経験と筆記試験の合格が求められている。

(出典 : Best' s Review, “Designations for Insurance and Financial Professionals” (2012.6) 等各種資料をもとに作成)

### 3. CPCU 資格の概要

米国の損害保険に関する資格の中でも最も権威とステイタスを有するとされている CPCU 資格は、米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 (American Institute for CPCU/ Insurance Institute of America : 以下「AICPCU/IIA」) が損害保険のプロフェッショナルを認定する資格である。本項では、CPCU 資格の概要について説明する。

#### (1) CPCU 資格制度の沿革

CPCU 資格の創設は、保険業界を医学・法学・神学の専門職業のように、認知された職業水準に押し上げたいという米国保険業界の指導者のかねてからの思いを実現すべく、ペンシルベニア大学のウォートンスクールの教授陣を中心に業界首脳との共同作業によって誕生したとされている<sup>4</sup>。1942 年、CPCU 資格の認定団体である米国 CPCU 研究所 (American Institute for CPCU : AICPCU) の設立を受け、教授陣は損害保険業界のプロフェッショナルとしての基準を高めるべく、専門職業として以下の 6 つの必要条件を倫理と知識の側面より掲げた。

- 他人に奉仕するという誓約
- 公表された倫理規定を遵守
- 専門知識の精通
- 他の関連分野の全般的知識
- 知識を測る基準
- 専門家協会への積極的な参加

上記の条件のもと、教授陣らは大学高学年レベルの 5 科目からなる試験プログラムを作成し、1943 年に 6 人の第 1 号 CPCU 資格者が誕生した。

#### (2) CPCU 資格制度の資格者数等

現在、CPCU 資格を実施している AICPCU/IIA<sup>5</sup>によると、CPCU 資格の現在の取得者数は約 6 万 8,000 人<sup>6</sup>とされている。最も著名とされる CPCU 資格であるが、米国の保険業界に携わる就労者数は、現在 200 万人を超えており、業界の全就労者数を鑑みると、累計の約 6 万 8,000 人とされる資格者数は決して多いとは言えず、資格者の希少性がみてとれる<sup>7</sup>。CPCU 資格を取得するにあたっての学習内容は、保険・リ

<sup>4</sup> 保険教育システム研究所「米国認定損害保険士 (CPCU) 翻訳シリーズガイドブック」(2003.12) より

<sup>5</sup> 米国 CPCU 研究所 (AICPCU) は、1953 年に米国保険研究所 (IIA) と統合し、現在は米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 (AICPCU/IIA) として運営されている (詳細は後記 4.を参照願う)。

<sup>6</sup> CPCU 資格は、米国以外の国においても受験が可能である。海外資格取得者数の正確な人数は公表されていないが、CPCU 会 (後記 5.を参照願う) の人数構成より、資格取得者のほとんどは米国で資格取得をした者と思われる。

<sup>7</sup> 連邦労働統計局 (Bureau of Labor Statistics) の統計によると、2011 年 5 月時点の保険会社および関

スクマネジメントに関する基礎、理論、実務までを網羅しており、法律・経営・会計などの周辺知識の修得も求められ、資格取得までは、最短で2年、平均的には3年7カ月程度の期間を要するといわれている。CPCU 資格取得者の多くは、保険会社、代理店・ブローカーに勤める者であるが、法律家や規制・監督関係者など周辺業界から挑戦する者も多いとされており、AICPCU/IIA のウェブサイトには、CPCU 資格者および学習者へのインタビューが掲載されている（図表4参照）。

**図表4 CPCU 資格取得者・学習者のインタビュー**

<p><b>CPCU 取得者 M.R 氏 保険会社社長 (MBA、CPCU、ARM)</b></p> <p>○CPCU が保険業界でのキャリアに役立ったことは？</p> <p>学校を卒業して保険業界へ就職して数年後、保険会社からのリクルーターが私にアプローチしてきました。彼は、CPCU 資格は保険業界でキャリアアップを目指す者にとって、他者と区別する大きな要素だと言いました。彼の言ったことは正しかったのです。私は CPCU 資格のおかげで他の者より際立つことができキャリアを前進させることができました。そして、わずか3年で管理職に推薦してもらうことができました。</p> <p>保険業界のどの分野の業務であっても、マネジメントする立場に上がりたければ、より広く保険の全体像を理解していないなりません。CPCU 資格は、保険業務に関して包括的な知識を提供してくれ、仕事に対する理解を深めることが可能となります。</p> <p>○社長業と CPCU 資格との関係は？</p> <p>私は、会計やシステムについてのバックグラウンドがありません。しかしながら、CPCU 資格の科目を学ぶことで、それらの分野についての機能とオペレーションについての理解を深めることができました。それらを、学んだことは、私の大きな自信となっています。</p> <p>私は従業員に CPCU 資格の取得を推奨しています。すべての科目を取得できないとしても、特定の職務については、それに対応する CPCU 科目の取得を要請しています。</p> <p><b>CPCU 学習者 C.A 氏 法律事務所 弁護士 (法学博士、MBA)</b></p> <p>○CPCU 取得のためのモチベーションとなったものは？</p> <p>CPCU 資格は、ハードワークと技能修得への熱心さの表れとなります。CPCU 資格はキャリアのドアを開きます。もしもポジションを競う二人の社員がいた場合、CPCU 資格を取得するための努力は、しばしば二人を区別するポイントとなるでしょう。</p> <p>私にとって、CPCU 資格は保険知識の最高峰です。「CPCU」と記された名刺を配る者にはプライドを感じます。そして、私は CPCU 資格の取得に時間と労力を注ぐ人を尊敬します。</p> <p>○CPCU 資格のキャリアへの影響とは？</p> <p>私は既存の CPCU 資格取得者の多くの、成し遂げたことおよびそのために払った犠牲に対して尊敬しており、だからこそ、私もそう在りたいと資格に挑戦しています。私は保険業界で20年間の経験がありますが、CPCU 資格は私をより良い弁護士へと押し上げ、20年間の保険業界での経験でも出てこなかった考え方を与えてくれると思っています。</p>
--

(出典：AICPCU/IIA ウェブサイトをもとに作成)

### (3) CPCU 資格を取得するための要件等について

本項では、CPCU 資格の取得に関する概要について説明する。

#### a. CPCU 資格を取得するための要件

CPCU 資格の取得にあたっては、定められた科目の試験の合格以外にも実務経験が

---

連業務 (Insurance Carriers and Related Activities) の就労者数は約 200 万人、損害保険会社 (Direct Insurance (except Life, Health, and Medical) Carriers) の就労者数は約 53 万人とされている。

必要であるなど、次の3つの要件が設定されている。

- 教育：CPCU で要求される 8 科目（後記 b.を参照願う）の試験への合格。
- 倫理：AICPCU/IIA の定める倫理規定に従うこと。
- 経験：過去 5 年間に 2 年以上<sup>8</sup>の保険業務（あるいは関連する業務）の実務経験があること。

CPCU 資格の特徴的な要件として、受験対象者は AICPCU/IIA の倫理規定を定めた CPCU プロフェッショナル行動指針（CPCU Code of Professional Conduct）（図表 5 参照）の遵守が求められていることが挙げられる。学習を始めるにあたって、受験対象者は AICPCU/IIA への受験生登録（Matriculation）が必要になるが、科目の学習の前にまず倫理規定の遵守への同意が求められるとともに、登録後は倫理規定に関するオンライン試験の受験が必要となる。

これらの倫理規定の遵守は、CPCU 資格取得者だけでなく、受験のために登録を行った者に対しても遵守が義務付けられており、CPCU 資格では知識の修得だけでなく、行動においても損害保険のプロフェッショナルとしての強い自覚が要請されている。

**図表 5 CPCU プロフェッショナル行動指針（CPCU Code of Professional Conduct）**

- |  |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 保険プロフェッショナルは、自己の利益より公共利益の優先に努めなければならない。</li><li>2. 保険プロフェッショナルは、プロフェッショナルとしての知識、スキル、能力の維持、向上に継続的に努めなければならない。</li><li>3. 保険プロフェッショナルは、すべての法令を遵守し、他人に損害を与える行為を行ってはならない。</li><li>4. 保険プロフェッショナルは、自己の職業上の義務の遂行に勤勉でなくてはならず、保険機能の改善に継続的に努めなければならない。</li><li>5. 保険プロフェッショナルは、保険およびリスクマネジメントのプロフェッショナルとしての専門性、倫理性の向上に努めなければならない。</li><li>6. 保険プロフェッショナルは、顧客、同僚の保険プロフェッショナル、他の専門家と威厳と尊敬を持った関係の確立・維持に努めなければならない。</li><li>7. 保険プロフェッショナルは、保険およびリスクマネジメントの公共の理解の向上に努めなければならない。</li><li>8. CPCU 保持者は、CPCU 称号の品位を尊敬し、その適切な使用について配慮しなければならない。</li><li>9. CPCU 保持者は、CPCU のプロフェッショナル倫理規定の尊厳を保つことに努めなければならない。</li></ol> |
|--|

（出典：AICPCU/IIA, “CPCU Code of Professional Conduct” をもとに作成）

## **b. CPCU 学習科目と試験の概要**

CPCU 資格の受験科目については、合計で 8 科目の学習を行う必要がある（図表 6

<sup>8</sup> 実務経験については、それまで 3 年以上とされていた期間が、2010 年に 2 年以上へと改定された。改定の理由として、①昨今の受験者は大学の学位取得者や大学で保険を学んできているものが多く、1942 年の資格制度創設時からの状況とは大きく変わってきていること、②現在、CPCU 科目のテキストが多くの大学の授業で使用されており、経験年数条件の緩和は卒業間もない生徒の受験の促進につながるため、③若年層の CPCU 資格受験を促進し、損害保険業界において、より聡明な労働力の増加につなげるため、とされている。



参照)。受験者は、必須である基本4科目に加えて、3科目からなる企業中心コースか個人中心コースのいずれを選択し、9つの選択科目のうちの1科目を学習し、試験に合格する必要がある。コース設定は大学の授業に例えると一般教養科目と専門科目に分けた設定がなされている。一般教養科目としての基本コースの他は、企業保険、個人保険、代理店等による販売業務、査定業務、アンダーライティング業務など受験者自身の実務に関連の深い科目を選択することができる。なお、AICPCU/IIAがあらかじめ承認している他の教育団体の認定している資格や大学の学位取得者にはCPCU資格の関係科目の受験免除制度があり、例えば、イギリスのCII資格<sup>9</sup>取得者、大学で法律やMBAの学位を取得した者、アクチュアリーなどは申請により一部の科目試験の受験免除が認められる（詳細は後記d.を参照願う）。

試験は科目ごとに1時間から3時間の試験時間にて行われる。問題の形式は選択式の問題だけでなく記述式の問題も設定されている。試験会場は、あらかじめ定められた実地試験（On - Site）方式の他、近年は、試験日時等の選択肢の広いプロメトリック方式<sup>10</sup>による受験が行われている。また、保険会社等の企業が自社従業員を対象に社内で試験を実施する方法も可能である。受験の対象者に関して、受験生の居住地による制限はないため、日本を含めた海外でも受験は可能である<sup>11</sup>が、試験に用いられる言語は米国内と同様に英語で受験することになる。

CPCU資格として認定されるためには、8科目の試験に合格する必要があるが、全科目合格までの期限に制限はない。AICPCU/IIAでは、全米でテキストや教材の購入を行った生徒数は毎年おおよそ1万5,000人おり、年間で延べ6万回から7万回の試験が実施されているとしている。

---

<sup>9</sup> CIIとはイギリスの勅許保険協会（Chartered Insurance Institute : CII）が実施している資格制度である。

<sup>10</sup> プロメトリック方式とは、プロメトリック社が各地に設けたテストセンターにおいて指定されたテスト期間中（CPCU資格の場合、年4回、各2ヶ月のテスト期間が設定されている。）、受験者は希望の日時に受験することが可能である。

<sup>11</sup> 日本においては、プロメトリック方式での受験、もしくは損害保険事業総合研究所の監督代行のもと実地試験（On - Site）方式にて受験することができる。

図表 6 CPCU 資格コース一覧

基本 4 科目 (必須)		CPCU 500 : リスクマネジメント・保険・プロフェッショナリズムの基礎 CPCU 520 : 保険運営、規制、法定会計保険運営 CPCU 530 : 保険に関する法律 CPCU 540 : 保険プロフェッショナルのためのファイナンスと会計
選択 コース (いずれ かのコース を選択)	企業中心 3 科目	CPCU 551 : 企業財産のリスクマネジメントと保険 CPCU 552 : 企業賠償責任のリスクマネジメントと保険 CPCU 553 : 個人のリスクマネジメント、保険、ファイナンシャルプラン
	個人中心 3 科目	CPCU 555 : 個人のリスクマネジメントと財産・賠償責任保険 CPCU 556 : 個人のファイナンシャルプラン CPCU 557 : 企業財産のリスクマネジメントと保険のサーベイ
選択科目 (1 科目を選択)		AAI 83 : 代理店のオペレーションと販売マネジメント AIC 34 : 労働災害と身体傷害事故のマネジメント AIC 31 : 財産事故の実務 AIC 32 : 賠償事故の実務 ARe 144 : 再保険の原則と実務 ARM 56 : リスクファイナンス AU 67 : 戦略的アンダーライティングテクニック CPCU 560 : 金融サービス機関 ERM 57 : 企業規模 (Enterprise-Wide) リスクマネジメント : 策定と実践

(出典 : AICPCU/IIA, “Succeed : 2013 Catalog” (2012) をもとに作成)

### c. CPCU 資格取得のための取組要領

本項では、CPCU 資格を取得するために学習する教育プログラムや、AICPCU/IIA によって推奨されている取組方法について説明する。

#### (a) CPCU 教育プログラムの学習要領

CPCU 資格の科目学習にあたっては、AICPCU/IIA が提供しているテキスト (図表 7 参照) とコースガイドに沿った独学の他に、大学や保険会社、その他の教育団体等によって講座が提供されている。また、AICPCU/IIA では、すべての科目についてインターネット経由のオンライン講座を設けており、受験者の学習の利便性の向上を図っている。また、新たな提供手法等を積極的に取り入れており、スマートフォンアプリの活用、フェイスブック、ツイッターの利用による情報発信にも力を入れて取り組んでいる。

AICPCU/IIA によると、一般的な受験者の学習要領として、85%の受験者が毎週 2 つの講義を受講し、それぞれの科目についての予習には一般的に 4 時間から 8 時間を要するとしている。各科目の講義数は 8 回から 15 回程度とされており、1 科目について最低 2 か月の学習期間を見込むことが推奨されている。

AICPCU/IIA のテキストは、試験の受験を前提としない大学の保険関連の講義にも使用されており、その内容は非常にわかりやすいと言われている。

図表 7 CPCU 科目の学習内容例

科目	主な内容
リスクマネジメント・保険・プロフェッショナルリズムの基礎 (CPCU500)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. リスクの評価</li> <li>2. リスクコントロール</li> <li>3. リスクファイナンス</li> <li>4. ERM</li> <li>5. リスクマネジメントにおける保険</li> <li>6. 保険契約の分析</li> <li>7. 一般的な保険契約のコンセプト</li> </ol>
保険の働き (CPCU520)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保険の働きの概要</li> <li>2. 保険規制</li> <li>3. 保険のマーケティングと販売</li> <li>4. アンダーライティングの機能</li> <li>5. 財産保険と賠償責任保険のアンダーライティング</li> <li>6. リスクコントロールと保険料監査</li> <li>7. クレームの機能</li> <li>8. 財産保険と賠償責任保険クレームの損害調査</li> <li>9. アクチュアリーの仕事</li> <li>10. 再保険</li> <li>11. 保険会社の戦略的マネジメント</li> </ol>
保険プロフェッショナルのためのファイナンスと会計 (CPCU540)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. GAAP の定義</li> <li>2. GAAP の分析</li> <li>3. 保険会社の法定会計</li> <li>4. 保険会社の年次法定会計の分析</li> <li>5. キャッシュフロー評価</li> <li>6. 債券と株式</li> <li>7. 保険会社の投資ポートフォリオ管理</li> <li>8. 保険会社の資本の必要性和財源</li> <li>9. 資本管理</li> <li>10. 合併と買収</li> <li>11. アンダーライティングサイクル</li> </ol>

(出典：CPCU 資格テキストをもとに作成)

### (b) CPCU 資格取得への段階的な取組

CPCU 資格で修得を求められる学習範囲は、損害保険分野のみならず周辺知識を含め幅広く対象とされている。AICPCU/IIA では、CPCU 資格以外に損害保険の各分野に特化した教育プログラムを提供している (図表 8 参照)。それらの教育プログラムのほとんどで修得を認定する資格制度が実施されており、CPCU 資格にチャレンジする前に、受験者が自分の就業分野に関連した資格から取組を行うことを推奨している。分野特化型の教育プログラムで取得された科目は、CPCU 取得のための科目としてみなされるなど、学習内容が重複しないための取扱いが図られており、最終的に CPCU 資格の取得を目指す受験者にとって段階的な取組が行えるようになっている。なお、これらの分野特化型の資格の取得は、一般的に 3 科目から 4 科目程度の学習と試験への合格が求められている。

図表 8 AICPCU/IIA 分野別の教育プログラム

教育プログラム	受講対象者						資格・認証の目的等
	代理店・ブローカー	損害調査	顧客サービス	情報テクノロジー	リスクマネジメント	アンダーライター	
損害保険士 (AINS)	○	○	○	○	○	○	保険商品、エクスポージャー、近年の契約傾向を修得することにより業務能力の向上を図る。
認定保険アドバイザー (AAI)	○						保険の商品知識の他、代理店・ブローカーの効果的な業務管理とオペレーションを修得。
企業保険アンダーライター士 (AU)	○					○	企業保険におけるアンダーライティングスキルを向上させ規律のある引受を行う。
リスクマネジメント士 (ARM)	○	○			○	○	組織目標の達成を支援するためのリスクファイナンス戦略の構築と実施について学ぶ。
損害査定士 (AIC)		○					コミュニケーション力、交渉力、訴訟防止のためのスキルなどの損害査定対応を修得する。
保険サービス士 (AIS)		○	○				顧客のニーズと動機についての理解を深めることによりサービスの質を向上させる。
顧客サービス士 (ACS)			○				生命保険の教育団体である LOMA 主体の共同プログラム。金融サービス知識の向上により、顧客との関係強化を図る。
認定顧客サービス販売員 (ACSR)			○				顧客管理能力の向上による収益力を強化し、保険商品知識の修得により E&O 請求を防止する。
認定保険アドバイザー (AAI)			○				保険商品・サービスに関する知識の修得により、強固な顧客関係を構築する。
個人保険士 (API)						○	個人財産および個人賠償責任に関する基本と実践に関する理解を深め業務の質の向上を図る。
IT のための損害保険 (INS24)				○			情報技術専門家のための資格。損害保険ビジネスの知識を深め、業務プロセスを理解する。
認定情報テクノロジー (AIT)				○			さまざまな情報関連商品の機能や特徴を学び、組織のパフォーマンス向上に寄与する。
公共団体リスクマネジメントコース (RMPE)					○		公共団体と民間団体とのリスクマネジメントの違いについて理解する。
エンタープライズリスクマネジメントコース (ERM)					○		リスク・保険マネジメント会 (RIMS) との共同プログラム。ERM の構築と実施について AICPCU/IIA の教材と RIM の講義により学ぶ。
身元・履行保証士 (AFSB)						○	身元・履行保証とその正しい証券について学び、顧客に幅広い案内を行う能力の向上を図る。
再保険士 (ARe)						○	先進的な再保険知識を修得し、再保険プログラムの構築技術の向上を図る。
残余市場士 (ASLI)						○	業務で活用するための、状況に応じた効果的な残余市場の利用を修得する。

(出典：AICPCU/IIA, “Planning for Success 2013”等をもとに作成)

#### d. 大学および他の資格制度との提携

AICPCU/IIA では、他の教育機関が認定している資格取得や大学の学位取得による CPCU 科目受験の免除制度や、CPCU 科目等の修了を大学の単位認定とみなしてもら

うための取組等をつうじて、学生層への保険教育と CPCU 科目学習を促進している。

### (a) 他の資格制度等との提携

CPCU 資格の取得には 8 科目の試験の合格が必要であるが、AICPCU/IIA では、受験者の効率的な資格取得機会を提供するため、AICPCU/IIA の他の教育プログラムや他の団体の資格、海外の受験者のために自国の保険教育プログラムの修了者について、CPCU 資格の一部の科目の試験の免除を認めている。(図表 9 参照)。

また、逆に AICPCU/IIA の提供している教育プログラムの修了が他の団体や海外の保険教育団体の提供している資格の単位取得とみなされる取扱いが認められているケースもみられる<sup>12</sup>。

**図表 9 CPCU 科目の試験免除対象条件**

MBA、ファイナンスの修士号の取得
リスクマネジメントおよび保険の修士号の取得
法律の学位の取得
指定大学の保険またはリスクマネジメント科目の修了
The American College の実施している生命保険関連資格 CLU、ChFC、CEBS の取得
インド保険団体の損害保険会員 (Non-Life Fellow, Insurance Institute of India) の認定
カナダ保険教育事業研究所 (IIC) の AIIC または CIP の取得
イギリスの勅許保険協会 (CII) の各種単位の取得
米国公認会計士 (CFP)、米国証券アナリスト (CFA) などの取得

(出典：AICPCU/IIA ウェブサイトをもとに作成)

### (b) 大学教育にかかわる取組

AICPCU/IIA は、大学と学生に対する保険教育および CPCU 教育プログラムの普及を促進するため、CPCU 科目および AICPCU/IIA が提供する他の教育プログラム科目の履修を大学の単位取得としてみなしてもらうための取組を推進している。

米国の 1,000 以上の大学が大学外教育の単位認定の基準として利用しているアメリカ教育協議会 (American Council on Education : 以下「ACE」) が実施する大学単位推薦サービス (College Credit Recommendation Service)<sup>13</sup>において、AICPCU/IIA の教育プログラムのうち 80 以上の科目が ACE の単位認定を受けている。学生は、認定された AICPCU/IIA 科目の修了と大学の単位取得を同時に行うことが可能となる。

また、ACE による単位認定以外にも、AICPCU/IIA では、大学院を中心とした教育機関と AICPCU/IIA 科目の修了を学校の単位認定とみなす個別の提携 (図表 10 参

<sup>12</sup> 例えば、イギリスの CII 資格やバミューダ保険協会のバミューダ保険学位、その他米国内の他の保険教育団体の単位取得として取り扱われている。

<sup>13</sup> 大学単位推薦サービス (College Credit Recommendation Service) とは、ACE が実施している、大学以外の組織において行なわれている高等教育レベルの教育プログラムについて ACE が評価・審査を行い、それらの教育プログラムの履修が大学での単位修得に相当すると認定されたものを、大学に対して単位認定の推薦を行う制度である。ACE による審査は厳格であるとされており、その認定を受けた教育プログラムは大学レベルに相当する優れたものであることを保証されるとされている。

照)を進めるなど学生層に対する取組に力を入れている。

**図表 10 AICPCU/IIA の主な提携大学**

大学名	提携学位
Ashford University	経営学士・経営管理学士
Boston University	保険マネジメント学修士
Brenau University	経営学修士
Capella University	経営学士・金融学士
Franklin University	経営学修士
Drexel University	経営学修士
Excelsior College	リスクマネジメントおよび保険学士
Olivet College	経営学修士
Salve Regina University	理学修士・経営学修士
Walden University	経営学修士

(出典：AICPCU/IIA ウェブサイトをもとに作成)

#### e. CPCU 資格の授与式

CPCU 資格のすべての科目試験に合格した新資格取得者は、CPCU 資格者の会員組織である CPCU 会 (CPCU Society) の主催する年次大会 (詳細は後記 5.(2)を参照願う) の場で CPCU 資格の授与が行なわれる。新資格取得者のすべてが出席の対象とされており、授与式への参加者の多くが家族を帯同し、資格授与の際は CPCU 倫理規定に沿った宣誓を行い、CPCU 会 (CPCU Society) のメンバーからの祝福を受けるなど非常に大きなイベントとして位置付けられている。また、年次大会での授与式の後にも、CPCU 会 (CPCU Society) の各地域支部においても会員を集めてセレモニーが行われ、新資格取得者を祝福するイベントが開かれるなど、資格取得後の会員間の親睦を図るための機会が設けられている。

## 4. 米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 (AICPCU/IIA) の組織と活動概要

CPCU 資格の教育プログラムおよび資格試験は、米国 CPCU 研究所/米国保険研究所 (AICPCU/IIA) によって実施されている。複数の教育関連団体等との統合を経て、AICPCU/IIA は現在、CPCU 資格制度以外にも、損害保険の各種資格制度の運営の他、損害保険にかかわる教育プログラムの提供、保険業界にかかわる調査研究、保険販売資格にかかわる継続教育の提供など事業の幅を広げて活動を行っている。また、AICPCU/IIA では、保険にかかわる専門教育を国際的に促進していくために、イギリス、カナダの保険教育団体とともに、世界保険教育事業研究所 (The Institute for Global Insurance Education : 以下「IGIE」) を設立し活動を行っている。本項では、AICPCU/IIA の各部門の活動概要、および IGIE の活動の概要について説明する。

### (1) AICPCU/IIA の各部門の活動概要

CPCU 資格制度の運営を行っている AICPCU/IIA は、フィラデルフィア郊外のマ

ルバーンに所在する非営利法人である。AICPCU/IIA は、元来は別組織であった 4 つの教育・研究に関わる団体、すなわち CPCU 資格を認定する①米国 CPCU 研究所 (American Institute for CPCU : AICPCU)、その他の保険関連資格制度等を運営する②米国保険研究所 (Insurance Institute of America : IIA)、調査研究業務を行う③保険研究評議会 (Insurance Research Council : IRC)、保険販売資格にかかわる継続教育を実施する④継続教育大学 (Continuing Education University.com : CEU.com) が統合された団体として運営されている。それぞれの事業は、現在も統合前から使用されている各々のブランド名で展開されており、これらの部門を合わせた呼称として、一般的には The Institutes と呼ばれている。以下では、上記①から④の部門別の活動概要について説明する。

#### a. 米国 CPCU 研究所 (American Institute for CPCU : AICPCU)

米国 CPCU 研究所 (AICPCU) は、「保険業界の父」と呼ばれたヒーフナー博士とペンシルバニア大学ウォートンスクールのローマン教授らを中心に 1942 年によって設立された。このように設立時の大学との緊密な関係は現在も継続されており、ウォートンスクールとの提携により保険幹部養成プログラム (Insurance Executive Development (IED) Program) (図表 11 参照) を提供するなどの活動が行われている。

図表 11 保険幹部養成プログラムの概要

項目	主な内容
参加対象者	リスクマネジメント分野および損害保険業界の中核管理者
研修実施団体	ペンシルバニア大学のウォートンスクール
研修期間	2 週間 (ウォートンスクールにて)
主なカリキュラム	第 1 週 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 戦略の構築と実施</li> <li>・ 判断</li> <li>・ シナリオ・プランニング</li> <li>・ コア・コンピタンス (会社の中核能力)</li> <li>・ 戦略的リーダーシップ</li> <li>・ ファイナンシャル・マネジメントおよび判断</li> <li>・ 利害関係者の価値</li> <li>・ マーケティング戦略</li> </ul> 第 2 週 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交渉ワークショップ</li> <li>・ 感情的知性 (EU) によるリーダーシップ</li> <li>・ 変革の指揮</li> <li>・ 組織を超えたマネジメント</li> <li>・ 影響力と説得力</li> <li>・ 倫理</li> <li>・ 保険業界シミュレーションおよび体験学習</li> <li>・ 保険ダイナミズム</li> </ul>

(出典 : AICPCU/IIA ウェブサイトをもとに作成)

## b. 米国保険研究所（Insurance Institute of America : IIA）

米国保険研究所（Insurance Institute of America : IIA）は 1900 年代の初頭にできた 5 つの地域的な保険教育協会が 1924 年にニューヨークで団結して設立された団体であり、損害保険分野の教育を提供している全米規模の組織としては最古の団体である。

前記の米国 CPCU 研究所（AICPCU）が損害保険にかかわる幅広い範囲の知識修得を対象とした CPCU 資格の実施主体であることに対し、米国保険研究所（IIA）は、損害保険分野における契約の引受（Underwriting）、損害査定（Claims）、リスクマネジメント、再保険等の特定分野に関する多くの資格・教育プログラム（図表 12 参照）を提供している。教育プログラムおよびプログラムにかかわる教材等については、プログラム各分野のそれぞれの専門家で構成するアドバイザリー委員会（Advisory committees）が適時見直しを行っている。1953 年の米国 CPCU 研究所（AICPCU）との統合により、それまでは地域的に限定されていた米国保険研究所（IIA）の教育プログラムは、全米に広まったとされている。

図表 12 AICPCU/IIA の提供している教育プログラム分野

・ 保険会計とファイナンス	・ マネジメント
・ 保険基礎	・ 保険情報テクノロジー
・ リスクマネジメント	・ 保険商品と代理店管理
・ 損害査定	・ 質の高い保険サービス
・ 企業保険アンダーライティング	・ 会計監査
・ 個人保険	・ 保険規制とコンプライアンス
・ 海上保険	・ 保証証券および犯罪保険
・ 再保険	・ 残余市場

（出典：AICPCU/IIA 資料をもとに作成）

## c. 保険研究評議会（Insurance Research Council : IRC）

保険研究評議会（Insurance Research Council : IRC）は、保険に関する調査を行う団体として 1977 年に設立され、1998 年に AICPCU/IIA と合併した。評議会のメンバーは大手保険会社を中心に構成されており、2013 年 3 月現在は保険会社や保険協会等の 9 つの会社・団体がメンバーとなっている<sup>14</sup>。保険研究所評議会（IRC）の理事はメンバーの代表によって構成され、研究テーマはメンバー会社の意向による選定が行なわれる。選定される研究テーマは、保険会社、消費者、公共政策（Public Policy）に関する調査が主とされており、特定の政策・政党の支援、ロビー活動などにつながるテーマは選定されない。下記は近年保険研究所評議会（IRC）によって行われた研究テーマである。保険研究所評議会（IRC）では、中立な立場でさまざまなテーマに

<sup>14</sup> オールステート、AMICA、ファーマーズ、ハノーバー、リバティーマューチュアル、ステートファーム、全米相互保険協会（NAMIC）、アメリカ損害保険協会（PCIAA）、全米自動車サービス協会（United Services Automobile Association）がメンバーとなっている。



ついでの研究活動を行っているとされている。

- ホームオーナーズ保険の保険金請求の傾向（2012年9月）
- 自動車保険市場における料率規制改革の長期的影響（2012年3月）
- 2011年の自動車保険の身体傷害に関する保険金請求の傾向（2011年11月）
- ニューヨーク州ノーフォルト制度に関わる保険金請求の最終報告（2011年10月）
- 2011年の無保険運転者について（2011年4月）

#### d. 継続教育大学（CEU.com）

AICPU/IIAでは、全米各州の保険仲介者が、その州の規制当局より義務付けられている販売免許を維持するための継続教育に関する教育プログラムを継続教育大学（CEU.com）として提供している。継続教育を実施するこの部門は2009年にオンライン継続教育を提供する既存の団体であるCE University, Inc<sup>15</sup>をAICPU/IIAに合併することによって加えられた。CPCU資格事業等によって培われた経験とオンライン・プログラムとの組合せにより質と利便性の両面で高いサービスを提供しているとされている。

## (2) 世界保険教育事業研究所（IGIE）の資格に関する国際活動

AICPCU/IIAでは、保険業界に携わる者へ専門教育の提供を国際的に促進していくことを目的とし、1997年にイギリスの勅許保険協会（Chartered Insurance Institute of Great Britain：CII）、カナダ保険教育事業研究所（Insurance Institute of Canada）とともに世界保険教育事業研究所（IGIE）を設立した。

本項では、IGIEの目的および活動等の概要について紹介する。

### a. IGIE 設立の目的

IGIEでは、保険や金融サービス市場のますますのグローバル化にともない、保険に携わる者への保険教育の必要性が高まってきたとしている。その結果、新興経済国においてもリスクマネジメントおよび保険の高度な知識とスキルへの要請が高まっており、顧客や雇用する立場としての保険会社等に対して、保険プロフェッショナルの能力を保証するための基準、すなわち資格制度が必要であるとしてIGIEの設立に至ったとされている。IGIEの最終的な目的は世界中の保険に携わる者に対して、その能力を保証する資格制度を構築することである。資格制度構築につながる保険のプロフェッショナルとしての国際的な基準を作り上げ、各国で保険のプロフェッショナル

---

<sup>15</sup> CE University, Incは、Online Teaching Internationalとエール大学関連のGraduate School Onlineという二つのオンライン教育提供団体が合併によってできたものであり、2009年にAICPU/IIAの一部門と

の養成を促進していくことである。

## b. IGIE メンバー

IGIE のメンバー<sup>16</sup> (図表 13 参照) は、世界各国の保険およびリスクマネジメント教育、資格制度を運営している団体が対象である。メンバーは正規メンバー (Member)、関連メンバー (Affiliate Member) および学術メンバー (Academic Member) より構成され、理事会 (Board of Management) の役員は、それぞれのメンバーから 1 名ずつが選出される。メンバー団体の属する国は、先進国のみではなく、多くの新興国によっても構成されている。

図表 13 IGIE メンバー団体

	国	団体名
1	オーストラリア	The Australian and New Zealand Institute of Insurance and Finance
2	バーレーン王国	Bahrain Institute of Banking & Finance (BIBF)
3	インド	Birla Institute of Management Technology
4	イギリス	The Chartered Insurance Institute
5	米国	CPCU Society
6	ブラジル	Fundação Escola Nacional de Seguros (FUNENSEG)
7	ブラジル	Fundacao Getulio Vargas (FGV)
8	バーレーン王国	Gulf Insurance Institute
9	サウジアラビア	The Institute of Banking
10	米国	The Institutes
11	カナダ	The Insurance Institute of Canada
12	インド	Insurance Institute of India
13	アイルランド	Insurance Institute of Ireland
14	南アフリカ	Insurance Institute of South Africa
15	スイス	Insurance Institute of Switzerland (IIS)
16	韓国	Korea Insurance Institute (KII)
17	米国	LOMA and LIMRA
18	マレーシア	The Malaysian Insurance Institute
19	インド	National Insurance Academy PUNE, India
20	日本	The Non-Life Insurance Institute of Japan (損害保険事業総合研究所)
21	ドバイ	Royal Center for Legal Training & Studies
22	シンガポール	Singapore College of Insurance Ltd
23	台湾	Taiwan Insurance Institute
24	トルコ	Turkish Insurance Institute (TSEV)

(出典：IGIE ウェブサイトをもとに作成)

## c. IGIE の活動

IGIE はメンバーに対して、主に、その国で行っている保険教育プログラムの評価に関する支援を行っている。また、これから保険教育プログラムや資格制度を構築しようとする国の団体に対する支援も行うとして以下の活動内容を挙げている。IGIE

なった。全米 50 州の代理店資格に関する継続教育団体としての承認を受けている。

<sup>16</sup> 日本は損害保険事業総合研究所が 2012 年よりメンバーとして加盟した。

では、各国保険団体への支援の他にも世界の保険市場に対し保険教育に関連する問題についての発信を強力に行っていくとしている。

- 世界各国の保険教育プログラムの提供数や種類の増加を促進し、IGIE がその情報源となること
- リスクマネジメントや金融サービスに関する国際的なプロフェッショナル教育のデザインや運営に関する基準の確立
- 教育プログラムの提供方法、カリキュラムの設定、コースの提供、試験要領等について、支援を求めるメンバーや他の団体の支援
- 各国の関連メンバーの事業を協力して支援すること
- IGIE のメンバー相互で承認可能な、国際的な保険教育プログラムを創設していくこと

IGIE では AICPCU/IIA が開発した損害保険、生命保険に関する基本事項の理解を深めるための 2 つのオンライン教育プログラムを提供している（図表 14 参照）。

これらの教育プログラムでは、教育プログラムの理解度を測定するため試験も設けられているものの、本コース自体は、資格などの付与を意図したものではない。その取扱については IGIE メンバー団体に委ねられているものの、インドの代表的な保険教育団体であるインド保険アカデミー (National Insurance Academy: NIA) が、IGIE 教育プログラムの修了者に対して修了認定を行っているなど、自国の資格制度に準ずる取扱をしているケースも存在する。

**図表 14 IGIE 教育プログラム**

コース	内容
IGIE 950 損害保険オンラインコースおよび試験	グローバル保険市場を理解するためのグローバル・リスクマネジメント、損害保険および金融サービスの基礎の理解と、それらの情報がどのように損害保険知識の拡大につながるかを理解する。
IGIE 951 生命保険オンラインコースおよび試験	生命保険の基礎の理解と、それらの基礎情報がどのように生命保険知識の拡大につながるかを理解する。

(出典：IGIE ウェブサイトおよび各種資料をもとに作成)

## 5. CPCU 資格者の会員組織の活動

CPCU 会 (CPCU Society) は、CPCU 資格取得者を会員とする組織である。CPCU は資格取得をゴールとはせず、CPCU 資格取得後の継続教育、CPCU 資格取得者間のネットワーク、リーダーシップの醸成など各種支援を通じて資格の継続的なステイタスアップ活動を担っている。本項では、CPCU 会 (CPCU Society) の組織の概要と、その活動内容を紹介する。

## (1) CPCU 会 (CPCU Society) の組織の概要

本項では、CPCU 会 (CPCU Society) の組織の概要として、その沿革と会員について説明する。

### a. 沿革と組織

CPCU 会 (CPCU Society) は、フィラデルフィア郊外のマルバーンの AICPCU/IIA と同一の敷地内にオフィスを構えており、AICPCU/IIA と密接に交流している。

1943 年に 6 人の第 1 号 CPCU 資格者が誕生した際、それらのメンバーによって①教育の推進、②倫理規定の遵守、③大学との連携、④会員相互の交流を目的として CPCU 会 (CPCU Society) は、1944 年に非営利法人として設立された。本部の他に、地域活動を行う拠点として、米国内の 135 の支部 (chapter) および、海外の活動拠点としてバミューダ、ヨーロッパ、日本、韓国、インドに海外支部が設置されている。

CPCU 会 (CPCU Society) の会長は 1 年の任期であり、選出されたボランティアが本業兼務のまま就任する。就任期間が 1 年と短いことから、前会長は辞職後も 1 年間は現会長を支援することになっている。

### b. 会員

CPCU 資格の合格者累計 6 万 8,000 人に対して CPCU 会 (CPCU Society) 会員数は約 2 万 2,000 人である。資格は取得したが、CPCU 会 (CPCU Society) に加入していない者は、保険業界以外の他産業で働いている者や故人とされており、保険会社や保険代理店で働く多くの資格取得者が会員として登録しているとされている。CPCU 会 (CPCU Society) のウェブサイトによると 2010 年 10 月時点の会員構成は男性 66%に対して、女性は 34%である。年齢は、20 代以下 2%、30 代 10%、40 代 28%、50 代 41%、60 代 17%、70 代 2%であり 50 代以上で 60%を占めている。米国以外の会員は合計で 382 名であり、そのうち日本は 34 名おり、海外の会員としては 2 番目に多いとされている (図表 15 参照)。CPCU 会 (CPCU Society) の会員は、保険会社に勤める会員が半数以上を占めているものの、代理店やブローカー業務を行っている会員も約 13%を占めており、教育団体や法律事務所、政府団体等の業界に属する会員も存在している。

図表 15 CPCU 会外国会員数

	国名	会員数
1	バミューダ	162
2	日本	34
3	プエルトリコ	26
4	インド	22
5	韓国	18

	国名	会員数
6	中国	16
7	カナダ	14
8	イギリス (England)	12
9	イギリス (United Kingdom)	8
10	スイス	8
	その他	62
	合計	382

(出典：CPCU Society ウェブサイト "Statistics of October 2012"をもとに作成)

## (2) CPCU 会 (CPCU Society) 活動の内容

CPCU 会 (CPCU Society) は、CPCU 資格取得後の継続教育、CPCU 資格者間のネットワーク、各種支援をつうじて資格のステイタスアップを図る役割を担っている。なお、2011 年から CPCU 会 (CPCU Society) は、損害保険およびリスクマネジメント業界に対して、その活動をより強力に推進するために AICPCU/IIA と公式な提携関係を結んだ。

CPCU 会 (CPCU Society) の活動内容は、年度の活動の指針となる CPCU 会戦略 (CPCU Society Strategic Plan) に詳細が定められている (図表 16 参照)。中でも、CPCU 資格の普及およびそのステイタスの向上については中心的な活動として位置付けられており、それらの活動を通じ保険業界全体の魅力の向上と優秀な人材を呼び込むための取組が推進されている。

図表 16 CPCU 会 (CPCU Society) の主要戦略計画 2012

	戦略目標
1	会員に対し常に業界に関する最新の保険知識を提供すること ・保険教育の提供機会の増大 ・CPCU 試験の受験生増加のための活動
2	CPCU 資格の普及 ・CPCU 資格合格者数増加のための活動 ・新規 CPCU 保持者の割合の向上のための活動 ・会員数の維持 ・CPCU 資格の認知の拡大
3	リスクマネジメントおよび保険業界への就業の促進 ・リスクマネジメントおよび保険業界への就職生徒数増加の促進

(出典：CPCU Society, "The CPCU Society Strategic Plan 2012" (2012) をもとに作成)

これらの取組は、各支部の顕著な活動を表彰する、表彰プログラム (Circle of Excellence Recognition Program) の実施を中心に促進されており<sup>17</sup>、本部では支部および会員の活動を支援するために、詳細なガイダンスや各種のツールを作成し提供

<sup>17</sup> 2011 - 2012 年のプログラムにおいては、日本支部も表彰対象として選ばれている。

している。

例えば、保険会社や団体の CPCU 資格についての認識の向上を図り、従業員の受験を支援してもらうための活動ガイダンスや、会員個人がイベント等で CPCU 資格についてスピーチを行うための原稿などの細かなツールまで用意して活動を支援している。

毎年の秋に開催される年次大会は多くの会員が顔を合わせる最大のイベントであり、この機に新旧の会長が入れ替わる。2012 年はワシントンで開催され、約 2,000 名が参加したとされている。年次大会は CPCU 会 (CPCU Society) の会員間コミュニケーションを深耕するためのイベントであり、毎回、米国内で開催地を変えて開かれる。2013 年はルイジアナ州を予定しており、北米大陸内のみならず 2016 年にはハワイ州での開催が予定されている。

## 6. CPCU 資格により期待される効果と制度の課題

CPCU 資格のようなスキルアップを目的とした資格の効果を客観的に測ることは難しいものの、各種の調査やアンケート等から資格取得による一定の効果がみとれる。本項では、CPCU 資格を取得することによる効果および制度が抱えている課題について説明する。

### (1) CPCU 資格取得によって期待される効果

図表 17 は、CPCU 会 (CPCU Society) の調査によるメンバーの主な役職のデータである。調査対象人数は、メンバーの一部である 1 万 6,000 名とされながらも、企業トップである CEO、President が 900 名で 5% を超えており、それらを含めて約 60% が管理職以上の役職に就いていることがみとれる。

図表 17 CPCU 会 (CPCU Society) 会員の主な役職別の構成割合

役職等	人数	割合
企業トップ層 (CEO, President)	918	5.6%
経営者層 (Owner/Partner)	943	5.8%
管理職層 (Vice President /Manager/Supervisor 等)	7,906	48.6%
専門職層 (Professional, Technical, Analyst 等)	3,837	23.6%
販売員・補佐業務担当 (Customer Service Representative, Assistant)	188	1.2%
学生・指導者・退職者 (Student/Trainee/Retired)	169	1.0%
その他 (Other)	2,304	14.2%
合計	16,265	100.0%

(出典：CPCU Society ウェブサイト "Statistics of October 2012" をもとに作成)

AICPCU/IIA が資格者に行ったアンケートでは、CPCU 資格の取得による以下の効果が挙げられており、多くの資格者は、CPCU 資格が自身のキャリア形成において有益であったと回答している。

また、多くの科目の修得が必要とされる CPCU 資格は、損害保険業界でスキルアップを目指す受験者から、CPCU と MBA のどちらを取得すべきか等、その高度な教育内容より並べて比較される位置付けにあるとされている。

- 就業機会と昇進の機会の拡大をもたらした・・・91%
- 給与の増加をもたらした・・・75%（うち4分の1は10%以上の増加）
- 会社の合併や組織変更等の際の職の安定に寄与した・・・86%

## (2) CPCU 資格制度の課題

現在、米国の損害保険業界は就労者の高齢化にともなう問題に直面しているとされている。多くのベテラン管理職の退職が見込まれる一方で、それに替わる若いリーダーが不足していると言われている。人材の不足が危惧されている主な要因は、若者を保険業界に呼び込めていないことが挙げられている。多くの若者は、保険業界を退屈な業界として、そこでのキャリア形成に興味を持っていないとされ、保険業界からは、実際に提供しているさまざまなキャリア形成の機会、例えば営業だけではない顧客サービス業務や損害調査、高度な情報テクノロジーにかかわる業務や法律分野にかかわる業務など幅広く魅力的な仕事があることを正しく伝えられていないとしている。業界を取り巻くこのような課題は、損害保険資格を実施している AICPCU/IIA にとっても共通するものである。

2011年9月、米国の学校における損害保険教育にかかわる中心団体であるグリフィス保険教育財団（The Griffith Insurance Education Foundation）が上記の問題に対する協議の場として保険教育およびキャリア会議（The Education and Career Summit）を開催した。会議は、保険業界、学術分野、学校生徒などの分野より100名以上が参加した大規模なものであったが、その会議のメインスポンサーを AICPCU/IIA が務めるなど、業界の課題解決の取組に深くかかわっている。

また、CPCU 会（CPCU Society）においても、やはり、高齢化を1つの要因とする会員数の減少という課題を抱えており、対応策の構築に取り組んでいる。保険業界の高齢化にともない CPCU 会（CPCU Society）では50歳以上の会員のおよそ65%が2014年末までの引退を見込んでいとされている。CPCU 会（CPCU Society）では、CPCU 資格取得の推進活動にあたり、取組が弱かった層を中心に強化すべきだとして、代理店・ブローカー層に対する取組、また、より地域に特化した取組を今後の強化分野として挙げている。

## 7. おわりに

米国では、CPCU 資格をはじめとして保険にかかわる多くの資格がさまざま団体により提供されているが、この現実を鑑みると、これらの資格制度には一定のニーズと評価のもと今日の状況に至っていると言えるのではないだろうか。これらの資格制度が発展してきた背景には、一般的に語られている米国のスペシャリスト志向、労働力の流動性などわが国とは異なる米国社会特有の要因が大きいと思われる。しかしながら、これは同時に業界全体が、資格取得者の努力を認め、その資格をステイタスとして認知してきたためとも言えるのではないだろうか。

一方、わが国では、損害保険に関して CPCU 資格にあたる資格制度は見当たらない。保険代理店の募集人向けにステップアップとその能力を認証する損害保険大学課程が昨年よりスタートしている。保険会社の社員等を対象にして保険の体系的学習を行う機会としては、一般的に損保本科講座を入社後の受講で学ぶのみで、それ以外の機会はない。募集人に資格取得を促進する一方、社員にも資格取得制度などのスキルアップを目的とした機会の提供を推進していく必要があるのではないだろうか。

損害保険のプロフェッショナルとして、求められる知識とスキルを体系的・網羅的に学ぶ機会を提供し、同時に、その修得が尊敬をもって認知されている米国の資格制度は、わが国においても参考にしていくべき点があるのではないだろうか。損害保険業は、高度な知的産業であり、今後も高度な知識とスキルへの要請が低下することはないだろう。より積極的にスキルアップをしていきたいと思う保険関係者に、チャレンジに値する機会を提供していくことを、わが国の今後の保険プロフェッショナル育成における検討課題としてもよいのではないだろうか。

また、社会のグローバル化に伴い、わが国でも多くの損害保険会社が海外展開を推し進めており、保険会社の社員が海外の保険関係者と接する機会が増えている。そのような状況の中で、わが国の保険関係者には引続きスキルの向上が求められていることは、言うまでもないが、そのスキルをグローバル基準での通用性をもって裏付ける「資格」の可能性についても考察していく余地があると思われる。



### <参考資料>

- ・ 杉野文俊・池内光久・諏澤吉彦『損害保険講座テキスト 損害保険とリスクマネジメント』損害保険事業総合研究所（2012）
- ・ 損害保険事業総合研究所『主要国の保険業界関連組織の役割・活動と法的背景』（2008.3）
- ・ 保険システム研究所『米国認定損害保険士（CPCU）翻訳シリーズガイドブック』（2003.12）
- ・ 濱中義隆「アメリカにおける大学外学習の単位認定制度—ACE/CREDIT の制度と実態」学位研究第 14 号（2001.3）
- ・ CPCU 会員協会日本支部『CPCU（認定損害保険士）資格と試験内容・受験方法（2010 年）』（2010）
- ・ AICPCU/IIA, “CPCU Experience Booklet”（2011）
- ・ AICPCU/IIA, “Succeed : 2013 Full Catalog”（2012）
- ・ AICPCU/IIA, “The Cannons, Rules, and Guidelines of the CPCU Code of Professional Conduct”（2010.10）
- ・ AICPCU/IIA, “2013 Registration Booklet”（2013）
- ・ Best’s Review, “Designations for Insurance and Financial Professionals”（2012.7）
- ・ CPCU Society, “Circle of Excellence Recognition Program”（2012）
- ・ CPCU Society, “The CPCU Society Strategic Plan 2012”（2012）
- ・ McKinsey & Company, “Building a Talent Management”（2010）
- ・ National Insurance Academy, “On-Line Examination at NIA for General Insurance & Life Insurance”
- ・ The Griffith Insurance Education Foundation, “Insurance Education and Career Summit Summary Report”（2011.9）

### <参考サイト>

- ・ 損害保険事業総合研究所ウェブサイト <http://www.sonposoken.or.jp/>
- ・ 日本損害保険協会ウェブサイト <http://www.sonpo.or.jp/>
- ・ 保険教育システム研究所ウェブサイト <http://www.iesi.jp/>
- ・ AICPCU/IIA ウェブサイト <http://www.theinstitutes.org/>
- ・ American Council on Education（ACE）ウェブサイト <http://www.acenet.edu/>
- ・ CPCU Society ウェブサイト <http://www.cpcusociety.org/>
- ・ LOMA ウェブサイト <http://www.loma.org/>
- ・ The American College ウェブサイト <http://www.theamericancollege.edu/>
- ・ The Chartered Insurance Institute（CII）ウェブサイト <http://www.cii.co.uk/>
- ・ The Griffith Insurance Education Foundation ウェブサイト <http://www.griffithfoundation.org/>
- ・ The Institute for Global Insurance Education（IGIE）ウェブサイト <http://www.igie.org/>
- ・ The Wharton School, University of Pennsylvania ウェブサイト <http://www.wharton.upenn.edu/>
- ・ U.S. Bureau of Labor Statistics ウェブサイト <http://www.bls.gov/>